

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: マルキン食品株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念については入社時の教育、カード配布、朝礼唱和等を実施している。商品づくりの理念として強く根付いている。 ・経営目標については社長自ら口頭で従業員へ発表している。												8	9							17												
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守に則ったマニュアルづくりがされている。 ・内部監査等の場においてチェックしている。																				16												
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引先からの接待や金品受領等を厳に禁止している。 ・仕入れ先等公平な取引に努めている。 ・下請法、優位的地位の濫用規制などを意識した公平な取引関係に努めている。																		10			16											
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・環境等に関しては各工場及び品質保証部・工務部、その他企業活動の社会影響に関しては広報課・総務課等で担当している。																					16											
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許・商標・著作権等について、依頼している特許事務所様へ定期的に出向いて相談、確認を実施している。													8.2	8.3	9																	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・従業員の個人情報に関わる内容(マイナンバーや各種関連資料等)は施錠して厳重に保管している。																					16											
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・消費者や地元地域はもちろん、従業員も含めた幅広いステークホルダーの声を尊重している。																				16	17											
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・サプライヤーの取り組み内容に関心を持ち、取引先の商社を介して情報交換している。					5								8		10		12	13	14	15	16	17										
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																			9		11		13.1		16	17								
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成に取り組んでいる。 ・【予定】マネージメント能力の向上を目的としたリーダー研修会を実施予定(2021年10月~2022年3月)														8	9								17									
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●															1	2									5		8			12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・あらゆる雇用条件・職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し相談窓口を設置している。 ・安全衛生委員会を月1回開催している。				4.3	5.1								8.5		10.2								16.1	16.2	16.7							
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・産業医と職場を巡回し、事故を未然に防ぐよう改善点を確認しており、また、リスクマネジメントに基づき問題箇所の改修等を実施している。			3											8.8																		
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている。 ・「同一労働同一賃金ガイドライン」に沿った体制の整備・運営を行っている。					5.5								8.5		10.2	10.3																
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・独自の「短時間正社員制度」を導入している。 (子の養育・介護について期間を定めず所定労働時間の短縮が可能。)				3										8.5	8.8		10.3															
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・年齢の近い先輩社員が後輩社員を業務上のみならずサポートできるよう、BS(ブラザーシスター)制度を導入している。 ・人材育成のため、必要経費を支給し、外部研修の受講や資格取得を奨励している。					4	5.5								8	9																	
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・交通事故等への注意喚起や健康意識向上のための取組促進を実施している。 ・健康診断、人間ドック、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。															8																	17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務や昇進・昇格等に、人種・性別等の差別的待遇はない。 ・障害者や外国人を雇用している。				4.4	5.1	5.5								8.5		10.2	10.3														16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・時差出勤、テレワークを導入している。 ・商談や会議はオンラインで実施。対面で行う場合は、サーモグラフィカメラによる検温、パーティションの設置、換気を行い感染症対策を														3				8	9.1		11	12										

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: マルキン食品株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																									
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・社員にパソコンを配布し、テレワークを推進している。 ・DocuWorksDesk導入によりペーパーレス化を進めている。									8	9.1		11	12													
	21	【プライド企業】 ・プライド企業に認定されている。		●	【予定】令和3年度認定取得に向けて申請準備中(2021年7月)				3	4				8	9				12												
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。		●	・廃棄物の有効活用化に取り組んでいる。 ・排水処理状況の把握と管理をしている。 ・地下水保全に取り組んでいる。 ・ボイラー排煙や煤塵並びに騒音を定期的に測定し適切な管理を実施している。 ・産業廃棄物業者と契約し、工場から発生するプラゴミや機械設備廃材等の適切な処理を行っている。					3.9				6.3					11.6	12.4		14.1	15.1								
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。		●	・エネルギー使用量を把握している。 ・中長期計画を立て、省エネに取り組んでいる。 ・工場内外の照明について、蛍光灯や水銀灯のLED化を進めている。 ・スチームアキュムレーター(蓄圧装置)設置により効率のよい蒸気を作り出しており、高い省エネ効果を得ている。									7.3								13									
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。		●	・事業活動温暖化対策計画書を提出しており、温室効果ガスの排出量を把握したうえで、抑制に取り組んでいる。 ・廃棄物を焼却せず、有効活用化に取り組んでいる。 ・各工場にて省エネ委員会を実施している。				2.4								7.2	7.3					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。		●	・社員にマイボトルを配布して、プラスチックごみ削減を進めている。 ・環境に配慮したサステナブル大豆を使用した商品を販売している。										6.6									14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。		●	・昨年令和2年度、3R推進功労者表彰において農林水産大臣賞受賞。 ・リデュース:管理手順書の作成や見直しを行いロスの削減や歩留まり向上に努めている。 ・リユース:フレコンバックを再利用(委託業者による引取り)している。 ・リサイクル:製品の検品等で製品化できないものを、包材を取り除き飼料用・肥料用として再利用し有価物として販売している。																9.4			12.2	12.4	12.5	14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。		●	・公益財団法人くまもと地下水財団に賛助会員として加入している。 ・県八地下水涵養計画・使用合理化計画を提出し、各対策を実施している。							2.4				6.1	6.3	6.4	6.6				11.5			14.1	14.2	14.3	15	17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。		●	・再生用紙利用を推進している。 ・関連機器やシステムの導入によりペーパーレス化を推進している。																9.4			12.4	12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・市販できない規格外品(食する分には問題ない)について、畜産・農家様へ飼料・肥料として供給(有価物)又、従業員の昼食に提供している。 ・子ども食堂やフードバンクへ提供している。		1	2										6.4						12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・植栽をできるだけ多く設けることで緑の創出・保全等に取り組んでいる(本社及び各工場など)。																			11.6	11.7		13.1	13.3	15	17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・太陽光パネルで自家消費し、節電に取り組んでいる。 ・エネルギー使用量を把握している。														7.1	7.2	7.3	7.a		9.4		11.5		13.1	13.3		
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●													6					9.4		11.3	11.4	11.5	12.2	13		15	
33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●													6.1	6.3	6.6					11.3	11.4	11.5	12.2	13		15		
34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・納豆容器のフタ材をシールタイプにする事でプラスチック使用量の削減に取り組んでいる。																						12.2	12.5		14		
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社用車は、ハイブリッド車・EV車への移行を促進している。(44台/50台中)																	9.4			11.2			13.1	13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●															7.1	7.2	7.3	7.a		9.4		11.6	11.a	12.8	13			17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: マルキン食品株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具合的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・お客様の申し出をもとに、品質の改善および各部署による品質向上の為の会議を定期的実施している。			3.9					9			12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・女性や高齢者の方でも簡単に開封が出来るように、添付のたれやこんにゃく製品にマジックカットを採用している。								9.1	10	11.7									17		
	39	【地域資源】 地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・地産地消を目的に、熊本県上益城郡嘉島町産の大豆を年間契約し、豆腐や納豆の商品化を行っている。							7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17		
	40	【木質化の取組み】 自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・産廃になる規格外品や商品を製造する際に、おからやテンゲン、煮汁等を肥料や飼料、商品として開発している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
42	【攻めの農林水産業】 地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・崇城大学との共同研究並びに熊本県産業技術センターとの連携にて、技術革新による農産物を使用した新製品の開発に取り組んでいる。									8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15			17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・規格外品を子ども食堂やフードバンクに提供しており、社員がボランティアスタッフとして所属している。 ・夏祭りなどの組合イベント等に参加し、手伝いを行っている。 ・納豆連を通じて、納豆の日に社会福祉施設に納豆を贈呈している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・水害等の各災害発生を想定し、ハザードマップの確認や避難訓練等を実施している。				4								11.5			13.1			16			
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・各事業所とも地域貢献の意識を強く持ち、防災や災害発生時の対応を行っている(地下水や保管在庫商品の地域提供など)。	1.5		3	4							10.2	11.5			13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・防災備蓄に資する長期保存食の開発を行っている。											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・外部講師を招いての社内講習会を実施。事例発表の講演や取材を受けながら社内外に推進している。今春、社内推進チームを結成している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・工場見学や高校生、大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。(感染症対策としてオンラインでも実施) ・小中学校と連携し、食育に関する授業を実施している。				4						8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・県内学生を対象とした会社説明会へ参加し、地元の実生・学生へ向け積極的に採用活動を実施している。 ・子ども食堂の支援やマラソン大会・定期演奏会への協賛など若者や子どもを支援する活動を行っている。				4.4						8.5 8.6										17	
50	【農林水産業の担い手確保】 子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・小学生を対象に、大豆からできる食べ物の学習や豆腐作りの食育活動を実施している。		2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15			17		

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。